

農作物技術情報 第9号 畑作物

発行日 令和3年 11月 25日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 岩手県農林水産部農業普及技術課 農業革新支援担当（電話 0197-68-4435）

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコン、携帯電話から「<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>」

- ◆ 小麦 生育は順調で、越冬前の生育量は十分に確保されています。雪腐病の発生量は「並」と予想されていますので、雪腐病の常発地帯では、雪腐病防除を根雪前に行いましょう。越冬後の融雪対策のため排水路の点検、整備を行いましょう。

小麦

1 生育状況等

適期播種された圃場では、播種時の天候に恵まれ、その後も気温が高く推移したことから旺盛な生育となっています。一方、水稻後作等で播種が遅れた一部の圃場では、生育遅れやばらつきがみられます。越冬前の生育量を十分に確保（概ね葉齢5葉、茎数3本/株）している圃場では、圃場が乾いていることを確認のうえ、凍上害防止や耐寒性の強化のため、積極的に踏圧作業を実施してください。

また、現在の順調な生育を維持しつつ、越冬後には速やかに追肥作業や踏圧作業が適期に実施できるよう排水路の点検・整備を実施し、排水対策を万全にしてください。

2 雪腐病の防除

農作物病虫害発生予察情報第7号（令和3年10月27日発行）によると、雪腐病の発生量は「並」と予想されています。県北部や高標高地帯など、根雪期間が長い地域や、耐雪性が「やや弱」の「銀河のちから」では被害が出やすいので、雪腐病防除を行ってください。雪腐病の防除時期は根雪前が最も有効とされていますが、根雪になる時期は年によって変動が大きいため、散布時期を逃さないよう注意が必要です。薬剤等の情報は農作物技術情報第8号（令和3年10月28日発行）に掲載しておりますのでご覧ください。



写真1 雪腐褐色小粒菌核病の被害圃場

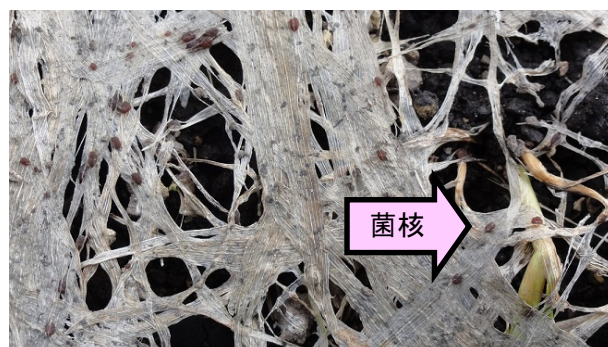


写真2 雪腐褐色小粒菌核病の拡大写真

3 排水路の点検

越冬後の融雪水の滞水による湿害等を防ぐため、根雪前に明渠や排水路の点検・整備を行います。土塊等で塞がっている場合は撤去して、スムーズに排水が行われるようにしてください。

また、越冬後の圃場排水を促進することで、融雪期の追肥作業等も適期に実施できるようになります。

※冬期間は暗渠の水閘を閉じておきます。融雪水がたまったら水閘を開き、一気に水を流すことで、堆積した水垢や土砂を押し出すことができます。また、暗渠排水口が排水路に溜まった泥のなかに埋まったり、排水路の水面より下に水没していると、吸水管からの排水が抜け難くなりますので、排水路の清掃も適切に行ってください。暗渠排水管が詰まらないような定期的な清掃が必要です。

4 積雪期間中の注意

小麦栽培では、積雪期間中に、特に行う管理作業はありません。積雪している圃場は滑りやすい上に、水路等の確認が難しく危険ですので、事故防止のため、必要時以外は立ち入らないようにしてください。

なお、雪解けが近づいたら、越冬後の作業スケジュール・内容を早いうちから計画します。

農作物技術情報の本年度定期発行は今号で終了となりますが、気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。

農業普及技術課農業革新支援担当は、農業改良普及センターを通じて農業者に対する支援活動を展開しています。